



プレスリリース



平成28年8月1日

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

平成28年度 第1回 太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
中央水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(平成28年8月~12月)のポイント

海況

黒潮は、9月上旬まで小規模なB型^(※1)・C型^(※1)で、9月中旬以降N型^(※1)基調で推移する。沿岸水温は、潮岬以西が「高め」^(※2)、熊野灘~伊豆諸島北部海域が9月上旬まで「平年並」^(※2)~「やや高め」^(※2)、9月中旬以降「平年並」~「低め」^(※2)、房総~鹿島灘が「平年並」~「やや高め」で推移する。

※1 黒潮を遠州灘沖から伊豆諸島周辺海域の流路で分類する

B型：八丈島の北を通過、流路南端が北緯32度以北で33度以南

C型：八丈島の南を通過

N型：八丈島の北を通過、流路南端が北緯33度以北

※2 平年並=平年値±0.5℃程度、やや高め=平年値+1.0℃程度、

高め=平年値+1.5℃程度、低め=平年値-1.5℃程度

漁況(来遊量予測)

マイワシ

前年を上回る海域が多い。

カタクチイワシ

紀伊水道以西では前年並~上回る、
熊野灘以東では前年並~下回る。

ウルメイワシ

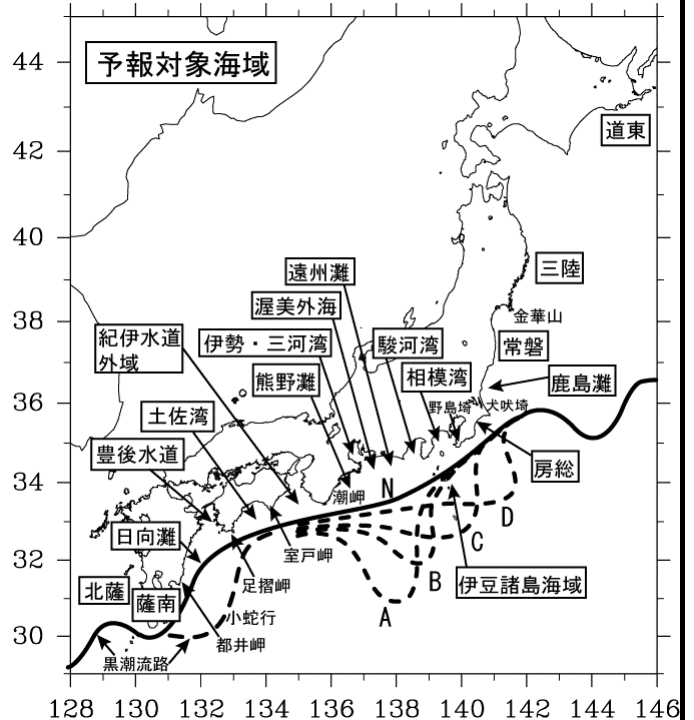
前年を上回る海域が多いが、
全体としては前年並。

マアジ

紀伊水道外域西部以西は前年並~上回る、
紀伊水道外域東部以東は前年並~下回る。

マサバ・ゴマサバ

マサバは前年並。ゴマサバは前年を下回る海域が多い。



問い合わせ先

国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所

担当：業務推進部 野上、市橋

漁況：資源管理研究センター 錢谷、由上、上村、高須賀、亘

海況：海洋・生態系研究センター 杉崎、清水

電話：045-788-7615、ファックス：045-788-5001

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場 函館水産試験場</p> <p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>東京都島しょ農林水産総合センター</p> <p>神奈川県水産技術センター</p> <p>静岡県水産技術研究所</p> <p>愛知県水産試験場 漁業生産研究所</p> <p>三重県水産研究所</p>	<p>和歌山県水産試験場</p> <p>徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究課</p> <p>高知県水産試験場</p> <p>愛媛県農林水産研究所 水産研究センター</p> <p>大分県農林水産研究指導センター 水産研究部</p> <p>宮崎県水産試験場</p> <p>鹿児島県水産技術開発センター</p> <p>地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 水産研究部 水産技術センター</p> <p>香川県水産試験場</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p> <p>(取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 中央水産研究所</p>
--	--